

編集後記

▼取材で町民文化祭芸能発表会へ！私にとっては文化に触れる貴重な1日でした。とくに詩吟は人生で初めて聴いたと思います。私が知っている詩吟は「吟じます！」から始まるものだけだったので、知っている詩吟との違いに驚きました！▼本格的な冬がやってきますね。雪が降って大変な日もあると思いますが、除雪など頑張りますよ。（杉澤）

▼もう12月。広報を担当していると、時間が経つのが早く感じます。1月号は配布日が早いので、まもなく編集作業開始です。▼料理をするのが好きなのですが、よく取材する食生活教室はとても参考になるんですよ。食材の組み合わせや味付けなど、勉強になることばかり。健康を保つためにも、毎日の食事は大切ですよ。（加賀）

▼村山秋の味覚市で無料配布されたずんだ餅は最高に美味しかったです。つきたてのお餅にずんだの餡がからんで…。なかなか厚岸では食べることができない味。枝豆好きな私にとって、おすすめの一品です。▼今年は極みるく65の発売や弁天かきの誕生、ウイスキーを作る厚岸蒸留所の稼働など楽しみなことがいっぱいでした。来年、再来年が待ち遠しい！（高江洲）

ひとのうごき

●人口／ 9,872人 （－18）
男／ 4,679人 （－4）
女／ 5,193人 （－14）

●世帯／4,454世帯 （－5）

●出生／ 7人 ●転入／15人

●死亡／10人 ●転出／30人

10月31日現在（ ）内は前月比

■発行／厚岸町
■編集／総務課広報情報係
〒088-1192
北海道厚岸町真栄3丁目1番地
TEL 0153-52-3131
FAX 0153-52-3138

URL <http://www.akkeshi-town.jp>
E-mail akkeshi@pop2.marimo.or.jp
法人番号 5000020016624



接客を楽しんでいます

荻原 遼馬さん（24歳）

月にもコンキリエを訪れてくれ、荻原さんのことを覚えていたらしく、『またコンキリエに来たかったんだ』と声を掛けてもらえたことがとてもうれしかった」と話し、「町内外問わず、多くのリピーターのお客様を増やしたい」と笑顔で抱負を話します。

厚岸味覚ターミナル・コンキリエで今年の6月から正社員として働いている荻原遼馬さん。カキの仕入れや炙屋を利用する観光客らにカキの焼き方なども説明しています。札幌近郊の大学に通っていましたが、地元の厚岸町で仕事がしたいと思い、接客業が

あるコンキリエに就職。「学生時代に居酒屋でアルバイトをしていたので、接客業は好きです」と話すほど、お客さんとの会話を楽しんでいる。やりがいを感じる時は「お客様から『美味しかったよ』と言ってもらえた時」。10月に鹿児島から来た観光客が、11

Close up

－ クローズアップ －

結成20周年を迎えた映像集団『光風』。『楽しみながら、気の向くままに』をモットーに、11人の会員が趣味としてのカメラを楽しんでいます。月に1度集まって、撮影した写真を見ながら情報交換をしたり、毎年1、2回の撮影旅行などでカメラの腕を磨いています。今年は鮭の遡上を撮りに清里町



映像集団『光風』

まで出かけ「帰ってデータを見ると、1千枚以上も撮影していたよ」と、事務局の福田さんは夢中になってシャッターを切ったとか。時には、ふると厚岸町の姿を後世に残すた

めに、四季折々の自然や生活、産業風景なども撮影。過去には、後世に伝えるための資料として活用されることも期待し、『厚岸の素顔』と題した写真集も作成しています。「町や他文化団体と連携・支援する取り組みなど『社会の役に立つ』ということも忘れず活動が続けていきます」